



やまと共創郷育センター NEWSLETTER

2019年秋号

平成27年12月にスタートした本学における「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は5年の補助期間最終年度を迎え、大学一丸となり県内就職者数の目標達成のための取り組みを進めるとともに、次年度以降の事業継続に向けた検討を始めています。事業協働機関ならびに、学内教職員の皆様におかれましては、引き続きCOC+事業へのご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

平成30年度COC+シンポジウムを開催

3月6日、奈良女子大学・奈良工業高等専門学校・奈良県立大学の3校主催で「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)シンポジウム2019～奈良から発信する地方創生への道～」を開催しました。当日は平成30年度の事業成果報告の他、各校の学生による取組みの発表が行われました。また、事業協働機関である奈良県地域振興部谷垣次長(本学OG)、株式会社マックス代表取締役大野社長をお迎えして3校学生と共に、「これからの奈良に何が必要か～未来を担う若者の役割～」と題してパネルディスカッションも行われました。



COC+評価委員会、COC+事業協議会を開催

7月2日に令和元年度やまと共創郷育センターCOC+評価委員会を開催しました。本委員会はCOC+事業について適切な評価を行うための組織で、5名の評価委員ならびにCOC+3校のメンバーから構成されています。委員からは、各校での教育カリキュラムの体系化が完成したことや、県内行政機関・企業への興味関心を高める為、県の実情にあったきめ細かな指導や丁寧な就職支援等が評価されました。加えて、これまでの取り組みを通じて築いてきたネットワークが補助期間終了により途切れることなく実績として形を残すとともに、後継事業に繋げるため引き続き検討を進めるようにとの意見をいただきました。



また、7月11日には令和元年度やまと共創郷育センターCOC+事業協議会が開催され、COC+3校をはじめ、事業協働機関の自治体・企業より30名が出席しました。当日は、まずCOC+事業全体に係る平成30年度の実績報告・進捗状況及び評価委員会での評価結果について報告があり、続いて各機関の取り組み発表と意見交換が行われました。出席者からは「これまでのCOC+の継続的な取り組みにより県内企業の考え方にも徐々に変化が生まれ、気運の高まりを感じている」、「大学生による地域での活動が町の活性化に非常に重要なものとなっている」、「地域志向教育の一層の推進により一人でも多く奈良県内で活躍してほしい」等の意見があり、次年度以降の事業継続に対する期待の大きさが感じられました。



「地域志向科目」の開講状況

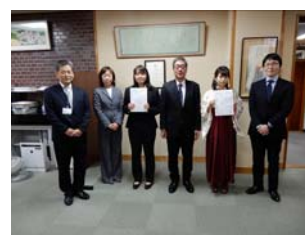
◆「地域志向科目」の必修化

COC+事業の大きな柱である「地域志向科目」は、「奈良女子大学的教養」の理念に沿った“奈良で学ぶことを通じてあなたは世界にどんな貢献ができますか？”“大学で学ぶことはあなたと未来の世代の人たちにとってどんな意味がありますか？”を具体的に問いかける科目で、これまで学部横断的に開講し、本年6月時点で全学部学生の88.6%が受講するに至っています。「地域志向科目」は、全学部学生が卒業するまでに一度は受講できる体系的なカリキュラムを構築するというCOC+事業の趣旨に沿って、今年度入学者より必修化し、合計19科目を指定しました。今年度開講の「地域志向科目」は以下のとおりです。

教養教育科目	文学部専門教育科目	理学部専門教育科目
開講科目名	開講科目名	開講科目名
「奈良」女子大学入門	なら学概論B	サイエンス・オープンラボⅠ
パサージュ(32A)	文化人類学特殊研究	サイエンス・オープンラボⅡ
パサージュ(32B)	なら学フィールドワーク実習	森林生物学野外実習
パサージュ(39A)	コミュニティ・リサーチ	河川生物学野外実習
環太平洋くろしお文化論	コミュニティ・アクション	生活環境学部専門教育科目
なら学	なら学演習	開講科目名
なら学+(プラス)	地域探究実践演習	地域居住学

◆平成30年度後期開講「なら学+(プラス)」最優秀レポートを表彰

4月12日、平成30年度後期に開講した地域志向科目「なら学+(プラス)～奈良を通じて地方創生の知見を深めよう！～」の最終課題レポートにおいて最優秀提案を行った学生に対して学長表彰を行いました。本科目は奈良県の伝統(地場)産業や基幹産業を中心にテーマを設定し、多数の実務家を迎えて講義を行い、208名の学生が受講しました。そして「奈良への提案プラン」と題した最終課題レポートから、「～ちはやふるの世界～百人一首の歌碑巡りと競技かるた観戦&体験」を提案した理学部学生を『「なら」いにしえ賞』、「地域住民全員を観光大使に任命して地域をPRLしよう！計画」を提案した文学部学生を『「なら」みらい賞』として選出、今岡学長から表彰状が手渡されました。



◆「奈良」女子大学入門の開講

全学共通の教養教育科目として、本学で学び安全で充実したキャンパスライフを送るために必要不可欠な内容をオムニバス形式で開講し、今年度は604名が受講しました。学生のキャリアデザインを奈良からスタートすることを目的とし、特に「奈良で知る・奈良で就職」をテーマとしたカテゴリーでは、奈良県雇用政策課、観光局の他、内閣府地方分権改革推進室やOGが在籍する県内企業等からもゲストスピーカーをお招きし、学生の地域就職に対する意識変革の契機となりました。



アントレプレナー科目を開講

7月20日、8月3日の2日間、COC+関連科目としてアントレプレナー意識の涵養とプレゼン能力の向上を目指し、南都経済研究所及び南都銀行から講師を迎え、キャリアデザイン・ゼミナールC(5)「ビジネスプランの作り方～アイデアだけでは終わらせない！～」を開講しました。受講した7名の学生は、2日間でビジネスプラン作成の基礎を学び、実際にプランを作成して発表する過程を体験しました。高齢者の余暇時間の有効活

用、地域の特産物の有効活用、若者の政治離れ、食と健康、観光客のホスピタリティ向上、災害発生時の支援等、様々な観点からのビジネスプランが生まれ、今回の経験を活かして県内のビジネスコンテストに応募する学生も現れました。



令和元年度前期のCOC+事業の取組状況

◆奈良県内での再就職支援サポート(4月～)

COC+事業の一環として奈良県 県内就労あっせん・起業支援センターとともに、本学卒業生を対象とした再就職支援に取り組んでいます。奈良県内で就職したいけれど、どこに相談していいかわからない、どんな企業の求人があるのかわからない等、再就職に関して情報の欲しい方や悩みのある方へのサポートを行っています。

(詳細はこちら→ <http://www.pref.nara.jp/51563.htm>)



◆「県内企業・県内自治体魅力発見フェスタ！2019」(6月17、20、24、27日)

全学年対象「県内企業・県内自治体魅力発見フェスタ！2019」を開催しました。フェスタにはCOC+参加校の奈良県立大学学生を含め、延べ102名が参加しました。今回は県内企業と自治体を同時にお招きし、志望の区別なく様々なお話を聞いて、仕事内容や魅力を比較検討できるよう実施内容をリニューアルしました。多数のOGにも来校いただき、参加学生にとって今後の就活やこれからのキャリアを考える上で大いに参考となるセミナーとなりました。



◆奈良県奈良しごとセンターによる「出張キャリア相談コーナー」(6月～)

COC+事業協働機関である奈良県 奈良しごとセンターの協力を得て、原則毎月第1・第3金曜日の午後、出張キャリア相談コーナーを開設しています。相談コーナーは、大学会館2階の学生談話スペースに設けられており、予約不要で気軽に訪問することができます。県内企業紹介やエントリーシート添削等、就職活動に関する様々な相談を行うことが可能です。



◆「県内大学生による学習等支援事業」事前研修会(7月10日)

令和元年度「県内大学生による学習等支援事業」事前研修会が開催されました。この事業は、本学学生の「野迫川村奈良女塾」の取り組みが、奈良県主催政策提案コンテスト「県内大学生が創る奈良の未来事業」に入賞し、平成29年度から予算化されたものです。3回目となる今年度は、五條市、宇陀市、御杖村、上北山村の4自治体において県内大学生による学習支援等のボランティア活動が予定されており、事業の企画・立案・実施に本学学生が中心となって携わっています。



◆「留学生のための下市町企業見学研修」(8月8日)

COC+事業協働機関である下市町の協力を得て、留学生を対象に企業見学研修を実施しました。参加した15名の留学生は、町の伝統産業である割り箸作り体験や奈良県南部の主要産業である材木加工販売を行う企業の見学を通して、奈良県の産業への理解を深めるとともに国内での就職に対する意識の向上に役立てました。



◆近畿ブロックコーディネーター会議(9月10日)

やまと共創郷育センターの呼びかけで、近畿ブロックのCOC+校(本学、京都工芸繊維大学、神戸大学、滋賀県立大学、和歌山大学)のコーディネーター及びCOC+業務に携わる職員が集まり、各校の取り組みや県内就職率、雇用創出数等の達成状況ならびに次年度以降の継続事業の方向性について活発な意見交換が行われました。

◆「バスで行く3校合同県内企業見学会」(9月26日)

奈良経済同友会・㈱南都銀行主催でCOC+3校学生の全学年を対象に、県内企業3社(DMG森精機㈱、名阪食品㈱、ディライト㈱)への合同見学会を開催しました。参加した18名の学生は、様々な分野の県内優良企業の現場を見学し、その魅力を知ることによって自身のキャリア選択の幅を広げることができました。



サテライト施設情報

◆下市町 学習支援事業(8月19～21日)

下市アクティビティセンターにおいて、夏季休業期間を利用した本学学生による地元小中学生への学習支援事業が実施されました。参加した学生は、夏季ワーク等の宿題を中心とした学習のお手伝いの他、「奈良“まほろば”かるた」大会など、様々な地域・地元に着目した社会学習を実施し、地元の子供たちと交流を深めました。



◆野迫川村 第8回奈良女子大学塾(8月26～30日)

奈良女子大学塾は、日頃大学生に接する機会のない小中学生に向けて、学習サポートやレクリエーションを通じて将来の進路を考えるきっかけとなるよう実施しています。今回参加した7名の子供たちは、本学学生と夏休みの課題や理科の実験、クッキング体験等の様々な活動を行いました。大学生との交流は子供たちにとって年齢の近い人生のロールモデルとして大切な役割を果たしているとして、事業協働自治体である村役場の担当者からも評価を頂いています。

地域志向科目「なら学+(プラス)」を後期開講します

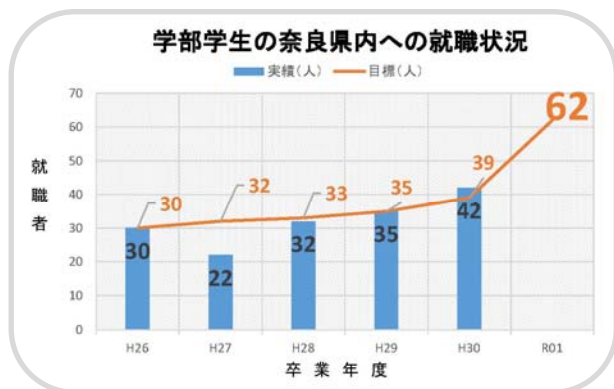
昨年度に引き続き、COC+参加校である奈良工業高等専門学校・奈良県立大学はじめ、県内企業や自治体から多彩なゲストスピーカーをお迎えし、様々な視点から奈良の課題や取り組みについて学ぶことによって、問題解決力や提案力を養います。奈良はもちろんのこと、地元に戻っても活躍できる未来の地域リーダーの育成を目指して講義を展開します。先生方も是非見学にお越しください。

＜ゲストスピーカー予定＞

奈良市観光協会、飛鳥観光協会、奈良県女性活躍推進課、奈良県薬事研究センター、奈良県農林部、奈良県森林技術センター、吉野ビジターズビューロー、(株)ATOUN、(株)池利、(株)イムラ、河村繊維(株)、国広産業(株)、佐藤薬品工業(株)、チアフル(株)、DMG森精機(株)、(株)マックス、名阪食品(株) 他

火曜
5・6限(13時～14時30分)
S235教室

県内就職の事業目標達成に向けて



COC+事業には、学生の地元就職率を事業スタート時点から10%アップさせるという目標があり、今年度は62名もの学生の奈良県内への就職が必要となります。地域志向教育の浸透により、県内就職者数は漸増傾向にありますが、県外出身者が9割を超える本学においては非常に高いハードルです。県内就職に関心のある学生がおられましたら、ぜひやまと共創郷育センターをご紹介ください。

～来年度以降の取り組み～

これまでのCOC+事業を通じて構築したネットワークを最大限に活用し、県内企業及び自治体間でのコストシェアのもと、引き続き若者にとっての魅力ある地域創生への貢献を進めます。地域志向教育のさらなる推進、学生が地域の中に入り自治体や地域住民、企業と連携して実施するPBL型授業を継続すると共に、学生と県内企業や自治体との出会いを積極的に創出し、学生の地域定着を後押しできるような体制づくりを進めて参ります。

奈良女子大学 やまと共創郷育センター

〒630-8506 奈良市北魚屋東町 奈良女子大学コラボレーションセンター1階
TEL 0742-20-3989 FAX 0742-20-3993 Email: coc-yamato@cc.nara-wu.ac.jp